

令和2年度通学路安全対策推進モデル地域研究事業の取組

伊予市教育委員会

1 取組の目的

通学路の安全に関する地域の実態を把握し、通学路における児童生徒の安全の向上を図るため、学校、教育委員会及び関係機関が連携し、通学路の合同点検や安全対策を推進する。また、児童生徒が主体的に交通安全について考えることができるよう、交通安全教育の充実を図る。

2 取組の内容

愛媛県教育委員会から、「令和2年度通学路安全対策推進市町」の指定を受け、通学路安全対策アドバイザーを中心に、学校、教育委員会及び関係機関が連携し、通学路合同点検や通学路安全対策連絡協議会を開催し、通学路の安全対策を行った。また、学校において、横断旗やのぼり旗の作成等を通じて、交通安全教育の充実を図った。

(1) 青色防犯パトロール講習会の開催

- ア 実施日 6月8日（月）、10日（水）
- イ 場 所 伊予警察署 大会議室
- ウ 受講者 9名
- エ 実施内容

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、少人数の受講とし新規受講者のみとした。各学校には、少なくとも1名は登録してもらっている。毎年、伊予警察署生活安全課の方にお世話になって実施しており、現在は、実施者証登録33名、車両登録32台となり、各学校の実態に応じて活動している。

(2) 通学路合同点検

- ア 実施日 7月30日（木）【北山崎小、南山崎小】
8月4日（火）【郡中小、伊予小】
8月5日（水）【翠小、下灘小】
8月6日（木）【中山小、佐礼谷小】
- イ 点検箇所 38箇所（市内合計）

ウ 実施内容

事前に学校より提出された危険箇所を、関係者が実際に点検して現状を把握するとともに、対策案について協議した。



(3) 通学路安全対策連絡協議会

ア 実施日 第1回：7月27日（月） 第2回：12月15日（火）

イ 場所 伊予市役所 大会議室

ウ 参加者

通学路安全対策アドバイザー、松山河川国道事務所道路管理第二課、松山河川国道事務所松山第二国道維持出張所、中予地方局建設部道路第二課、伊予警察署交通課、伊予警察署生活安全課、伊予交通安全協会、伊予市土木管理課、伊予市危機管理課、伊予市校長会代表、伊予市教育委員会学校教育課

エ 実施内容

第1回は、事業計画の確認と各学校から報告された合同点検箇所の概要とその対策案について協議した。特に新規箇所については、現場の写真のスライドで提示することで、合同点検前に具体的な対策案をイメージできるようにした。

第2回は、対策状況の確認と各校の取組報告を行った。関係機関から事前に提出があった対策状況をもとに確認し、関係機関より補足説明をした。また、愛媛県通学路安全対策アドバイザーより指導・助言をいただいた。



オ 通学路危険箇所の対策実施例

合同点検実施後、関係機関による対策を実施していただいた。合同点検実施 38 箇所の内、20 箇所が今年度対策完了予定である。また、今年度は、全国道路標識・標示業四国協会愛媛県支部による「こどもを守ろうプロジェクト」にも道路標示を中心に協力いただいた。

伊予市立中山小学校	Aコープ向かいの横断歩道
<p style="text-align: center;">【対策前】</p> 	<p style="text-align: center;">【対策後】</p> 
<p>三叉路になっており、通行量も多いため、カラー舗装、注意喚起看板を設置。横断歩道、予告標示の補修は上申中。</p>	

伊予市立伊予小学校	県道23号線横断歩道
<p style="text-align: center;">【対策前】</p> 	<p style="text-align: center;">【対策後】</p> 
<p>集合場所から約50mほど移動して横断歩道を渡っていたが、危険であるため横断歩道を団地前に移設。照明灯は今年度新設予定。</p>	

(4) 横断旗・のぼり旗を活用した交通安全教育

ア 横断旗贈呈式

この取組に賛同いただいた、伊予交通安全協会、伊予安全運転管理者協議会から、横断旗 300 本を寄贈いただき、9月に拠点校である郡中小学校で贈呈式を行った。



イ 横断旗作成・設置

各小学校では、寄贈された横断旗とこの事業で購入した横断旗に交通安全メッセージを書いて、手作り横断旗を作成した。「自分たちだけでなく地域の方にも活用してもらおう」という視点で、作成した横断旗を設置する場所を子どもたちで考え、地域の交通安全協会の方といっしょに設置した。



ウ のぼり旗作成・活用

全小・中学校で交通安全に関するのぼり旗を作成した。子どもたちのアイデアを生かして作成されたのぼり旗は、常時掲示したり、定期的に登下校時に活用したりして、交通安全意識の高揚を図るために役立てている。



3 取組の成果

- 関係機関と連携しながら協議会や合同点検を行うことで、さまざまな視点からより効果的な対策案を検討することができた。また、継続して合同点検を行っているため、通学路の安全確保を常に意識でき、毎年改善が図られている。
- 横断旗やのぼり旗を作成・設置することで、子どもたちにとってより主体的な交通安全教育を実施することができ、地域への啓発にもなった。

4 今後の課題

- 安全点検後にハード面（道路の拡張や横断歩道の設置、外側線の引き直し等）の対策に取り組むので、特に予算の確保が難しく、解決するまでに時間がかかる。
- 引き続き通学路合同点検を実施していくとともに、効果的な交通安全対策を検討していきたい。また、防犯の視点での対策箇所が少ないので、危険箇所調査の際に周知していきたい。
- 今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交通安全教室等の十分な取組ができなかったが、新しい生活様式を意識しつつ、ソフト面での取組も改善を加えながら継続していけるよう見直しを行っていきたい。